

# McAfee Data Loss Prevention Endpoint

(旧名称: McAfee Host Data Loss Prevention)

データ損失に関する報道が企業に及ぼす深刻なダメージ

知らない間にデータがなくなっていますか？今この瞬間も、顧客情報、知的財産、財務データ、個人情報ファイルが会社の外に流出している可能性があります。犯人はハッカーだけではありません。自社の従業員の場合もあります。偶発的な、あるいは悪意に基づく意図的なデータ損失は、電子メール、Webポスティング、USBドライブ、印刷など、一般的な経路で発生する可能性があり、その結果、企業は多額の被害を被ってしまいます。

## 主な利点

他に類のない強力な保護機能

- 職場、自宅、移動中のいずれであっても、データの損失を阻止

総合的なデバイス管理

- あらゆるリムーバブルストレージデバイス上の機密データに対して、コンテンツに基づく詳細なフィルタリング、監視、ブロックを指定

マルチレイヤーの保護

- デバイスタイプに関係なく、データをすべてのエンドポイントで確実に保護

ePOによる一元管理

- 既存のマカフィーセキュリティリスク管理アーキテクチャーを使用してデータ損失を防止

コンプライアンスに必要な情報を完全に把握

- 監査担当者、経営陣、その他の関係者に対して、社内および法規制のコンプライアンス対策を実証

## データ損失が発生する前に阻止

毎日、企業は意図的および偶発的な情報漏えいによって、大量のデータ損失被害に遭っています。最近の調査では、Fortune 1000企業の75%以上が、データ漏えいの被害に遭い、55%以上の従業員が、ポータブルデバイスを使用して毎週職場から機密データを持ち出していることもわかっています。<sup>1</sup> データ侵害とその修復にかかるコストは膨大で、2008年には、コストの平均は665万ドルに及びました。<sup>2</sup>

もしデータ損失を簡単に、そして効果的に阻止できたとしたらどうでしょうか？同時に業界や法規制に対するコンプライアンスの管理にも効果があるとしたらどうでしょうか？ユーザーの機密データの取り扱いを監視、監査、制御することで、それが可能になりました。

## 保護とコンプライアンス

McAfee® Data Loss Prevention Endpoint (DLP Endpoint)を使用すれば、機密性が非常に高いデータを完全に把握し、その転送を制御できます。職場、自宅、移動中のいずれであっても、機密データの損失を瞬時に監視して阻止できます。DLP Endpointによって企業は、経済的な被害、ブランドイメージの失墜、顧客の減少、競争力低下、コンプライアンスへの非対応といったリスクを回避できます。

DLP Endpointでは、日常業務に支障をきたすことなく、迅速にそして簡単にリアルタイムイベントを監視し、一元管理されたセキュリティポリシーを適用して従業員による機密データの使用や転送を統制および制限し、詳細なフォレンジックレポートを作成することができます。電子メール、IM (Instant Messenger)、CD印刷、Webへの投稿、USBデバイスへのコピー、印刷などにより社内ですべて発生するデータ損失の脅威から企業を保護します。

また、従業員の資格情報を乗っ取るトロイの木馬、ワーム、ファイル共有アプリケーションによるデータ損失を食い止めることもできます。

## 業務に支障なく保護を実現

データが変更、コピー、貼り付け、圧縮、または暗号化されている場合でも、データ損失や漏えい防止が可能で、業務にはほとんど支障なく、390を超えるデータファイルタイプのコンテンツを保護します。データは、辞書や正規表現 (検証アルゴリズムを含む) を使用して分類されます。さらに、独自のタグ付け技術によって、元の位置、またはデータを生成したアプリケーションによって、データにタグを付与します。分類では、機密文書の登録も行われます。

## コンプライアンス管理の簡略化

McAfee ePolicy Orchestrator® (ePO™)での簡単な管理により、イベント監視やインシデントの詳細情報を提供することができます。その結果、監査担当者、取締役やその他の関係者に対して、社内規制や法規制に対して、コンプライアンス対策を実証することができます。DLP EndpointをePOと統合することで、送信者、受信者、タイムスタンプ、データ証跡など、機密データの使用に関する重要なデータを簡単に収集できます。ボタンをクリックするだけで、ePOがイベント監視や詳細なレポートを提供してくれるため、監査担当者、経営陣、その他関係者に対して、社内および法規制へのコンプライアンス対策を実証することができます。

## 非常に強力なデータ保護がもたらす大きな効果

エンドポイントから出て行くデータを完全に把握し、データ損失を未然に阻止することで、企業イメージの失墜を回避できます。

1 『Threats Within Volume II: Data Loss Disaster (内なる脅威—ボリュームII: データ損失による被害)』、Illuminas 2007年。

2 『2008 Cost of Data Breach Study』(2008年データ侵害によるコストの調査)』、Ponemon Institute

システム要件

McAfee ePolicy Orchestratorサーバー  
オペレーティングシステム

- Microsoft® Windows Server 2003 Standard (SE) SP2以降
- Microsoft Windows Server 2003 Enterprise (EE) SP2以降
- Microsoft Windows Server 2008 Standard

エンドポイントのデスクトップ、ノートPC  
オペレーティングシステム

- Microsoft Windows® Vista (32ビット) SP1以降
- Microsoft Windows® XP Professional (32ビット) SP1以降
- Microsoft Windows 7 (32ビット、XPモード以外)

機能

他に類のない強力な保護機能

- ユーザーによるネットワークやアプリケーション経由での、ストレージデバイスへの機密データの送信、アクセス、印刷方法を制御します。電子メール (Microsoft OutlookとLotus Notes)、Webメール、ピアツーピアアプリケーション、IM、Skype、HTTP、HTTPS、FTP、Wi-Fi、USB、CD、DVD、プリンター、ファックス、およびリムーバブルストレージデバイスを保護します。
- 適用オプションには以下が含まれています。
  - » 暗号化 (McAfee Endpoint Encryptionが必要)
  - » ブロック (データ転送を防止)
  - » ビジネス上の必要性を検証 (必要性が実証されればブロック対象から除外)
  - » ユーザーへの通知
  - » 証跡の保存
- 検出および修復オプションには以下が含まれています。
  - » 暗号化 (McAfee Endpoint Encryptionが必要)
  - » 検疫 (ローカル、AES暗号化)
  - » 監視
  - » 証跡の保存
  - » 削除

容易に詳細を把握可能

- 総合的なインシデントレポート監視によって、送信者、受信者、タイムスタンプ、およびデータ証跡など、適切な分析、調査、監査、被害の修復、リスク査定などに必要なデータをすべて収集します。

- 詳細なパフォーマンス設定やディレクトリー指定によって、ローカルのハードドライブに保存された機密データを巡回、検出することができます。

総合的なデバイス管理

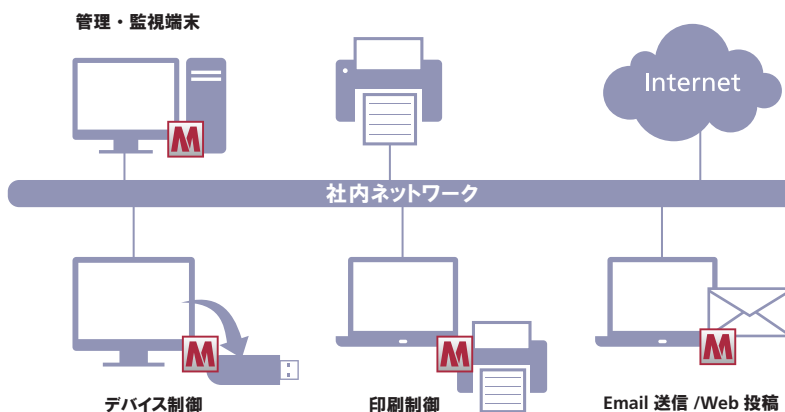
- USB、iPod、その他のリムーバブルストレージデバイスにコピーされた機密データを制御、およびブロックします。
- 製品ID、ベンダーID、シリアル番号、デバイスクラス、デバイス名などのWindowsベースのパラメーターによって、使用可能なデバイスの指定や分類が可能です。

マルチレイヤーの保護

- 一元化されたポリシーの導入と適用
- 複数のData Protection製品を併用することで、全体的にデータ損失を防止
- リムーバブルメディアやネットワーク共有フォルダーにデータをコピーする際には、シームレスにオンデマンドで暗号化を行い、暗号化されていなければ電子メール送信やWeb投稿をブロックします。

ePOによる一元管理

- エンドポイントエージェントを一元化
- 統一されたルールやポリシーを搭載した共通の管理用コンソール
- 共通のイベントデータベース
- 共通のレポートおよび通知メカニズム



**McAfee** マカフィー株式会社  
www.mcafee.com/jp

- 東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト20F  
TEL: 03-5428-1100(代) FAX: 03-5428-1480
- 西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F  
TEL: 06-6344-1511(代) FAX: 06-6344-1517
- 名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビルディング3F  
TEL: 052-954-9551(代) FAX: 052-954-9552
- 福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F  
TEL: 092-287-9674(代) FAX: 092-287-9675

●製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ